

まちづくりを問う! 会派で行う集中質問

(会派質問 通告一覧表)



平成27年6月

周南市議会

平成27年第2回周南市議会定例会

会派質問通告一覧表

★6月29日（月）

- 1 新誠会（310分） 1
（兼重 元、田村勇一、坂本心次、清水芳将、立石 修、
土屋晴巳、中津井求、福田健吾、福田吏江子、米沢痴達）

★6月30日（火）

- 2 参輝会（130分） 3
（福田文治、長嶺敏昭、青木義雄、岸村敬士）
- 3 嚙矢会（130分） 4
（古谷幸男、西田宏三、尾崎隆則、友田秀明）
- 4 公明党（130分） 5
（吉平龍司、金井光男、相本政利、金子優子）

★7月1日（水）

- 5 刷新クラブ（100分） 6
（小林雄二、田村隆嘉、田中和未）
- 6 アクティブ（70分） 6
（岩田淳司、井本義朗）
- 7 政志会（70分） 7
（伴 凱友、長谷川和美）
- 8 中村富美子（40分） 7

1 新誠会

1 所信表明に対する質疑

2 一般質問

1 子育て支援について

(1) 喫緊の対応が求められる子育て支援対策について問う。

ア 子育て世代のニーズの把握と今後の戦略的な施策展開につなげるための「子育て応援ミーティング」の開催の予定は。

(2) 乳幼児医療費助成制度について問う。

ア 本市は就学前までの乳幼児医療費を昨年度から全額助成することになったが、県内他市の取り組み状況を市は把握しているのか。また、現在の本市の乳幼児医療費助成制度はどのような位置にあるのか。

イ 乳幼児医療費助成制度の拡充を希望する声を多く聞く。中学校入学までの何らかの医療費助成制度を提案するがどうか。

2 A E D設置状況と使用環境について

(1) 普通救命講習の開催状況について問う。

ア 現在の市民の受講状況は。また、再受講状況は。

(2) 市内のA E D設置状況について問う。

ア 医療機関を含んだ民間施設等の設置状況を、市は把握しているのか。

イ 公民館や小中学校のA E Dの設置場所は市内で統一されていることが望ましいが、現状はどうか。

(3) 小中学校が休みの場合のA E Dの使用環境について問う。

ア 学校が休みの日にグラウンド等を市民に開放した場合、その学校に設置のA E Dは使用可能なのか。また、「あるのに使えない」という状況を防ぐために、どのような対策を市としてとっているのか。

3 災害に対する安心安全対策について

(1) 周南市指定緊急避難場所・避難所は、豪雨や洪水に対する安心安全対策を十分にとっているのか。

ア 避難場所・避難所エリア内の避難通路や夜間照明設備等は整備されているのか。

イ 各地区の自主防災組織と避難場所・避難所等に関する情報交換を定期的に行っているのか。

ウ 市が行う防災訓練日に、授業の一環として複数の小中学校で防災訓練を実施してはどうか。

(2) 御姫町の浸水対策は十分になされたか。

4 地方創生について

(1) 周南市における地方創生に向けた産業振興・雇用創出について問う。

ア 若い世代における地方からの人口流出をどのように考えているのか。

イ 大卒者の多くの雇用を確保するために、新たな企業誘致（管理的職業、専門的・技術的職業、事務、販売、サービス職業等）をもっと積極的にしてはどうか。

ウ 市内大手企業の本社機能を東京から周南市に移転するような働きかけ、また企業の支店獲得のための働きかけをしてはどうか。

エ 地方大学を活用した雇用創出、若者定着を図るため、市として徳山大学等の教育機関との連携をどのように考えているのか。

5 ぬくもりのある地域づくりについて

(1) 新市建設計画の進捗状況はどうか。また、積み残しについてどうするのか。

6 周南緑地基本計画について

(1) 計画のテーマは「緑豊かな元気あふれるスポーツコンベンションパーク」であり、基本方針には「運動施設の改修等による、スポーツコンベンション機能の強化」とあることから以下を問う。

ア 25年3月の計画発表以降、今年度で3年目となるが、運動施設の改修は何かしたのか。

イ 中央緑地、東緑地の将来像として描かれた基本計画図は現在も変更なしで生きているのか。

ウ 具体的施設整備の優先順位や、整備予定年度がなぜ示せないのか。

エ スポーツコンベンション誘致の強化の観点から整備を真剣に急ぐべきではないか。

オ 周南市体育協会からの新規要望の内容は。

カ 以前提案した体育協会との正式な意見交換の場は持っているのか。

キ 施設の改修や整備のための有利な補助金メニューの検討は、本当に行っているのか。

7 熊毛地域の上水道事業について

(1) 進捗状況と今後の進捗見込みは。

(2) 未普及地域（団地以外の地域）のアンケート調査の結果はどうか。

(3) 未普及地域の上水道施設の普及推進を、これからどのように取り組むのか。

(4) 公共施設（総合支所、保育所、小中学校、高等学校、市営住宅）の事業の取り組みは。

8 公共施設の再配置について

(1) 公共施設再配置に対する市長の考えと決意は。

(2) 「周南市公共施設再配置計画」策定後の再配置に向けた具体的な取り組みは。

9 第2次まちづくり総合計画について

(1) 人口減少に対する具体的な方策は。

(2) 人口流出の歯止め対策は。

(3) ビジネスメッセへの取り組みは。

10 市の考え方について

(1) 契約のあり方について、以下を問う。

ア 4、5月の入札案件の増加策は。

イ 4月から最低価格の考え方を変更したが、その影響は。

(ア) 同額抽選は。

- (イ) 同額入札者は。
 - (ウ) 端数を切り捨てることの影響は。
 - ウ 抽選の方法は。
 - エ 入札参加者同士が元請、下請負になる場合は。
 - オ 違算の影響は。
- (2) 公共施設再配置計画について、以下を問う。
- ア 新南陽総合支所の位置づけは。
 - (ア) 行政の区割りは現行のままか。
 - (イ) コンパクトシティの考え方に反していないか。
 - イ 出先機関再配置プロジェクトチームは手続可能な窓口をふやす方向を示していないが、それでよいのか。
 - ウ モデルケースをつくって市民とともに考えてみる時期ではないのか。

2 参輝会

- 1 所信表明に対する質疑
- 2 補正予算に対する質疑
- 3 一般質問

1 消費税増税と投資的事業の柔軟性について

- (1) 第3次周南市行財政改革大綱推進計画では、平成29年4月からの消費税率10%は織り込み済みとのことだが、増税の影響額と投資的政策における消費税対策の庁内議論の状況は。
- ア いずれ取り組む考えの事業があれば、増税を見越しての前倒しを考えるべき事業・投資があると考えますが、その柔軟性を問う。
 - イ 図書館のICタグ化の提案には、3月議会で諸課題解決のための前向きともとれる答弁があったが、実施すれば数億円かかる。2%増税になると数百万円の財政支出増となるが、政策的に急ぐべきではないか。
 - ウ 新庁舎建設には、事務用機器等の備品購入費が、かなりの規模で必須となる。節税対策には機器の選択、発注時期が関係してくるのではないか。
- (2) 競艇事業の入札不調に見られるように、最近の建設資材・人件費の高騰等の大きなギャップは、一般会計における推進計画では想定範囲か。また、大型公共事業は増税とセットで考えなければ影響が大きくなるのではないか。
- (3) 動物園リニューアル計画をさらに先延ばしにし、15年計画としたが、現代社会の15年の経過は時代が変わるほどの期間であり、民間の発想では考えられない方針である。政府の地方創生の考えや、周南市版総合戦略の策定の求め、コンベンションシティの標榜にも乖離があると疑問に思うがどうか。

2 JR櫛ヶ浜駅前の駐輪場不足について

- (1) JR櫛ヶ浜駅は利用者が多く、特に駐輪場は慢性的に不足の状態にある。近隣に新たな駐輪スペースを確保して、不足の状態が解消できるのではないか。

3 都市計画道路榑浜久米線開通の新たな利便性の向上について

- (1) 榑浜久米線の開通は多くの経済効果を生んだ。現在、大島・給島地区の高齢者の買い物や通院には、バスで榑ヶ浜駅におりてからタクシーを使うか、徳山駅から再度バスに乗りかえるなどで対応している。一方、榑浜久米線沿線には、開業医やショッピングセンターや多様な商店が展開されている。大島・給島地区から徳山中央病院までのバスを運行することで、時間的、経済的負担も軽減でき、利便性が一気に向上するのではないか。

3 嚙矢会

1 所信表明に対する質疑

2 補正予算に対する質疑

3 一般質問

1 学び・交流プラザについて

- (1) 目的は達成されているか。
- (2) 利用状況はどうか。
- (3) 市民（利用者）の反応はよいか。
- (4) 問題点はあるか。

2 大津島における買い物弱者対策について

- (1) 現在、周南市の交通に不便な地域においては、マックスバリュやコープなどの業者が、生鮮食品や日用品などを移動販売して、高齢者や車に乗れない方などへの買い物対策を講じているため、大変喜ばれている。大津島の住民から、フェリーに乗って徳山に買い物に行っても、高齢者には帰りの荷物が重い等負担が多過ぎて、島にも移動販売車が来てもらうことはできないかとの相談を受けた。高齢化率の進んでいる大津島の買い物弱者対策の一環としてぜひ実現をと考えるが、事業者にとっては、フェリー代が大きな負担になると考えられる。市からの援助を検討してはどうか。

3 新駅ビル建てかえに伴う民間活力導入図書館の導入について

- (1) 新たに駅ビルが建設されようとしているが、総工費の予算は幾らか。
 - ア 土地代
 - イ 解体費
 - ウ 建築費
- (2) CCCを有力な選択肢の一つとしているが、その会社について問う。
 - ア 資本金
 - イ 店舗数
 - ウ 売り上げ
 - エ 正社員と嘱託職員の比率など、オープン後の雇用形態をどう考えているか。
- (3) 周南市が有力な選択肢の一つと判断した経緯と理由は何か。
- (4) CCCが持っている周南市への認識度と、市民にとってのメリットはどのように捉えているのか。

- (5) 新駅ビルにあって、面積分で家賃に換算すると幾らになるのか。また、収入面については、幾らを想定しているのか。
 - (6) 新駅ビル図書館にはＩＣタグは導入されるのか。
- 4 上水道について
- (1) 熊毛地区の上水道整備の現状と課題・進捗状況を問う。
 - (2) 市全体として、今後の余剰水量への取り組みはどうするのか。
- 5 学校給食について
- (1) 産地偽装で納品された納入業者に損害賠償請求を行い、請求金額１１０万６,７９２円が納入された。子供たちへの安心安全な食材の確保と対応について問う。

4 公明党

1 所信表明に対する質疑

2 補正予算に対する質疑

3 一般質問

- 1 周南緑地（スポーツ健康交流ゾーン）の整備について
- (1) 周南緑地基本計画の進捗状況及び今後の計画を問う。
 - ア 全体的な環境整備及び個別施設の陸上競技場や水泳場等の整備進捗状況は。
 - イ 平成２７年度当初予算では自動車学校跡地を仮駐車場として整備するが、その内容と目的は。
 - (2) 野犬対策の現状と課題を問う。
 - ア 市民への被害や市民からの通報の状況は。
 - イ 市及び県の現状の対応及び問題解決への今後の取り組み方法は。
- 2 熱中症の対応について
- (1) 熱中症の疑いによる救急搬送の状況は昨年と比べてどうか。
 - (2) 熱中症に対する正確な予備知識や予防と対処法の周知は。
 - (3) 小中学校における猛暑・熱中症対策の取り組みの具体策は。
- 3 歩行者の安全確保への自転車走行環境整備の取り組みについて
- (1) 本市の、歩行者との年間自転車事故件数と実態は。
 - (2) 歩道・車道における自転車走行空間の確保と歩行者の安全対策は。
 - (3) 自転車利用者のマナー向上へ、全市を挙げて交通安全教育の取り組みが求められるが、本市として関係機関との連携で自転車利用時のルール周知と自転車ルール遵守のキャンペーンを実施してはどうか。
- 4 空き家対策と対応について
- (1) 空き家等の適正管理に関する条例制定後の実態は。
 - (2) 市内の空き家の利活用のために「(仮称) 空き家活用センター」を開設してはどうか。
 - (3) 老朽空き家の解消や道路拡幅で区画再編へ「(仮称) ランドバンク事業」等の研究による中心市街地の活性化は考えられないか。

5 刷新クラブ

- 1 所信表明に対する質疑
- 2 補正予算に対する質疑
- 3 一般質問

- 1 周南市子ども・子育て支援事業計画について

- (1) 平成20年及び25年に実施した、子ども子育て支援に関するニーズ調査の結果及び特徴的な違いは何か。
- (2) キャリア教育の一層の推進とは、どういうことか。
- (3) 放課後子ども総合プランの実状は。
- (4) 保育所の現状は。
 - ア 待機児童数は。
 - イ 利用者ニーズは。

- 2 スポーツ振興について

- (1) 国のスポーツ基本法や第2次周南市まちづくり総合計画を受けて、周南市スポーツ推進計画を策定中であるが、これまでの「元気しゅうなんスポーツプラン」との大きな違いは。また、基本的な考え方は。
- (2) スポーツコンベンション誘致事業の現状と今後の取り組みは。
- (3) 周南緑地公園のスポーツ施設の整備について、市民の意見を反映したものになっているか。また、整備スケジュールを示すべきではないのか。
- (4) キリンビバレッジ周南庭球場について、高校生以下の使用料を減免するべきではないか。

- 3 周南市中心市街地活性化基本計画について

- (1) 平成25年度から計画に沿って官民協働による各事業が推進されているが、これまでの進捗状況と今後の取り組みについて問う。
 - ア 当初計画からの変更点は。
 - イ 現時点及び将来の課題は。
 - ウ 今後のスケジュールは。
- (2) 計画策定時から中心市街地を取り巻く環境が変化している。目標指標の見直しが必要ではないか。

6 アクティブ

- 1 所信表明に対する質疑
- 2 一般質問

- 1 世界大会等のキャンプ地の誘致について

- (1) 2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地の誘致に向けて全国の自治体が既に名乗りを上げており、山口県もキャンプ地誘致検討チームを立ち上げ、誘致を推進している。スポーツコンベンションに取り組む本市にとって絶好の機会と捉え、誘致活動に取り組んでみてはどうか。

- (2) 2019年のラグビーワールドカップについてはどうか。
- 2 周南圏域の連携について
- (1) 今後、我が市が積極的に進めていくべき周南圏域の連携について、市長の考えを問う。
- ア コンベンション・観光部門連携
 - イ 動物園など既存施設の活用や周南フルマラソンなど新イベントへの展開
 - ウ 周南圏域での公共施設再配置の考え方
 - エ 周南圏域での公共交通ネットワークの再編
 - オ 広域的なコンパクト・プラス・ネットワークの考え方
 - カ 周南市総合戦略と圏域連携の位置づけ
-

7 政志会

1 所信表明に対する質疑

2 補正予算に対する質疑

3 一般質問

1 学校給食の異物混入対策について

(1) 異物混入の内容を問う。

- ア 異物混入には、どんなものがあるのか。
- イ パン、ごはん、おかずのそれぞれの混入件数の実態は。
- ウ 異物混入の過去3年間の比較と現状は。

(2) 3月議会で金属片に限った公表から、プラスチック片も公表するという公表基準見直しをすることであったが、それ以後の異物混入の状況は。

(3) 学校給食法第9条のとおり、周南市においても「学校給食衛生管理基準」にのっとり、学校給食衛生管理マニュアルの作成に取り組み必要があると考えるが、今後の方向性は。

2 重大事故防災計画に関する市の対応について

(1) 原子力災害対策指針の改定に伴い、避難計画策定について、平成25年6月議会で質問したが、その後何か検討をしたか。

3 非正規職員の待遇について

(1) 昨年12月議会で質問した非正規職員の待遇改善について、職員団体との協議を進めているという答弁であったが、結果はどうか。

8 中村富美子

1 所信表明に対する質疑

2 補正予算に対する質疑

3 一般質問

1 周南市版総合戦略策定と市長選挙公約について

(1) 地方公共団体は2015年度から2019年度までの5年間の総合戦略を策定することとなっている。そこで以下を問う。

- ア 周南市が地方創生で一番に考えなくてはいけないことは何か。
- イ 国は、まち・ひと・しごと創生実現のための予算を、今後5年間、毎年1兆円確保

するという方針を出しているが、周南市の5年間の予算総額は。

ウ 国は、地域の自主性を発揮した地方単独事業に積極的に取り組みというが、周南市はどのような事業を考えているか。

エ 国は、身近な施策を幅広く総合戦略に盛り込むことを期待している。第2弾の住宅リフォーム助成事業は好評であったが、継続する考えはないか。

(2) 市長選挙公約について

ア 子供の医療費無料化の拡充はどこまでするのか。

イ 教育環境の充実で、エアコンの整備をするとあるが、小中学校の普通教室も特別教室も全て整備するのか。

ウ 市民館にあるホール機能は、解体後の跡地の利用計画とともにしっかり検討するとあるが、規模はどのくらいを考えているか。

エ アからウのことは市民の強い要望である。総合戦略の中に盛り込み、なるべく早い時期に実現させるべきではないか。

2 市営住宅の維持管理について

(1) 入居者が小修繕の要望を出しても応じてもらえないことが多いと聞く。合併時と比較して、市・入居者がそれぞれ管理する内容は変わっているのか。また、変えたというのであればどういう理由か。

(2) 市営住宅内の高木の剪定について

ア 高木の剪定をしないという方針はいつからか。

イ 樹木を根元から切るのは市がやるが、剪定は入居者ですることになっている。事故等があった場合、どうするのか。

ウ 市営住宅の樹木は市が責任を持って剪定すべきと思うがどうか。